

中学歴史プリント（基礎確認）
昭和時代（戦後）

名前

得点

／15

問1 1970年、日本で初めて国際博覧会として開催され、科学技術の進歩を世界に示すきっかけとなった出来事を何という？

1. 愛知万博 2. つくば万博 3. 大阪万博 4. 沖縄海洋博

問2 第二次世界大戦後、アメリカを中心とする資本主義陣営とソ連を中心とする社会主義陣営が対立した国際情勢を何という？

1. 世界大戦 2. 冷戦 3. 代理戦争 4. 熱戦

問3 1947年に実施され、引揚者の帰還などにより戦後直後の日本国内で急増した人々の数を把握するために行われた調査を何という？

1. 学校基本調査 2. 経済センサス 3. 住宅・土地統計調査 4. 国勢調査

問4 昭和時代、石油コンビナートの排煙が原因で深刻な公害被害が発生し、ぜんそく患者が多発した場所はどこ？

1. 四日市 2. 新潟 3. 水俣 4. 富山

問5 1949年にその存在を予言し、のちに日本人として初めてノーベル物理学賞を受賞するきっかけとなった素粒子を何という？

1. 素粒子 2. クォーク 3. ニュートリノ 4. 中間子

問6 朝鮮戦争の際、日本が米軍から兵器の修理や物資の調達などを大量に受注したことで経済が活気づいたことを何という？

1. ブラザ合意 2. 朝鮮特需 3. バブル景気 4. オイルショック

問7 サンフランシスコ平和条約と同時に締結され、日本国内へのアメリカ軍の駐留を認めた条約を何という？

1. 日米修好通商条約 2. 日米共同宣言 3. 日米安全保障条約 4. 日米和親条約

問8 第四次中東戦争をきっかけに中東の産油国が原油価格を引き上げ、世界的な経済混乱を招いたのは何年？

1. 1973年 2. 1975年 3. 1974年 4. 1971年

問9 1951年に日本が連合国と結び、主権を回復した条約を何という？

1. 日ソ共同宣言 2. 日韓基本条約 3. サンフランシスコ平和条約 4. パリ講和条約

問10 1967年に、急速な経済発展に伴う深刻な公害問題に対処するために制定された、公害対策の基本となる法律を何という？

1. 環境基本法 2. 水質汚濁防止法 3. 大気汚染防止法 4. 公害対策基本法

問11 1960年代、高度経済成長期の家庭に普及した「三種の神器」の一つで、娯楽の中心となったものは何？

1. 電気冷蔵庫 2. 白黒テレビ 3. 電気洗濯機 4. カラーテレビ

問12 第二次世界大戦後、中国で共産党と内戦を繰り広げた組織を何という？

1. 国民党 2. 自民党 3. 社会党 4. 共産党

問13 太平洋沿岸に建設され、原料の輸入や製品の輸出を有利にするために作られた、製鉄所や工場が集まる巨大な施設を何という？

1. 自動車工場 2. 製紙工場 3. 鉄鋼コンビナート 4. 石油化学コンビナート

問14 1980年代後半に起きた資産価格の異常な高騰が、1990年代に入って一気に崩れた現象を何という？

1. オイル・ショック 2. ポツダム宣言 3. バブル崩壊 4. サンフランシスコ平和条約

問15 1950年代半ばから約20年間にわたり、日本経済が極めて高い水準で成長し続けた期間を何という？

1. 産業革命 2. 高度経済成長 3. 世界恐慌 4. バブル景気

答え合わせ・解説

問1	答え 3 大阪万博	正式名称は日本万国博覧会で、世界中の国々が参加し、最新の技術や文化を紹介しました。多くの日本国民が来場し、科学技術に対する関心が高まりました。
問2	答え 2 冷戦	両国は直接的な軍事衝突（熱戦）は避けつつ、世界各地での勢力争いや軍拡競争を行いました。核兵器の保有による「恐怖の均衡」が保たれていたため、第三次世界大戦は回避されました。
問3	答え 4 国勢調査	1947年に行われた国勢調査は、戦後の社会状況を正確に把握する役割を果たしました。この調査により、食糧難や住宅不足などの社会問題を解決するための政策が練られました。
問4	答え 1 四日市	工場から排出された硫黄酸化物などを含む煙が周辺住民の健康を直撃し、激しいせきを伴う「四日市ぜんそく」が発生しました。これは四大公害病の一つに数えられています。
問5	答え 4 中間子	湯川秀樹は、原子核の中に存在する陽子と中性子を結合させる力が、ある未知の粒子のやり取りによって生じているという仮説を立てました。これが1935年に予言した「中間子」の理論です。1947年に宇宙線の観測によってその存在が実際に証明され、1949年にノーベル物理学賞を受賞しました。
問6	答え 2 朝鮮特需	日本国内では、米軍向けの軍需品や修理の注文が相次ぎ、経済が急激に回復しました。この朝鮮特需によって企業の生産能力が上がり、外貨も蓄えられたことで、戦後の経済成長の大きなきっかけとなりました。
問7	答え 3 日米安全保障条約	サンフランシスコ平和会議の直後に締結されたこの条約は、日本の領土内へのアメリカ軍駐留を法的に認めるものでした。これにより、日本は自国の防衛をアメリカに依存する一方で、基地を提供することで冷戦下のアジアにおけるアメリカの軍事戦略に組み込まれることとなりました。
問8	答え 1 1973年	1973年、第四次中東戦争が勃発すると、中東の産油国は原油価格を大幅に引き上げました。これにより「石油危機（オイルショック）」が発生し、日本を含む世界経済は大混乱に陥りました。ガソリンや灯油が不足し、物価が急激に上昇する「狂乱物価」と呼ばれる状態も生まれました。
問9	答え 3 サンフランシスコ平和条約	1951年、日本は「サンフランシスコ平和条約」に調印しました。この条約により、日本は連合国との戦争状態を終結させ、主権を回復して国際社会へ復帰しました。また、同年には貿易に関する国際協定であるGATT（関税と貿易に関する一般協定）への加入も進められ、世界経済への統合が本格化しました。
問10	答え 4 公害対策基本法	公害対策基本法は、国や自治体、企業の公害に対する責任を明確にしました。汚染の防止策や被害者への救済など、公害対策の進め方を具体的に定めた最初の法律です。
問11	答え 2 白黒テレビ	当時の「三種の神器」と呼ばれた家電は、白黒テレビ、電気洗濯機、電気冷蔵庫です。特に白黒テレビは、スポーツ中継や歌番組などを家族で楽しむ娯楽の象徴として、多くの家庭にとって憧れの存在でした。
問12	答え 1 国民党	蔣介石が率いる国民党は、毛沢東率いる共産党と激しい内戦を展開しました。しかし、共産党に敗北した国民党は1949年に台湾へ撤退しました。一方、共産党は大陸を掌握し、同年10月1日に「中華人民共和国」の建国を宣言しました。
問13	答え 4 石油化学コンビナート	原料を運び込みやすい海沿いに、製油所や化学工場などを一つの地域に集めた「石油化学コンビナート」が建設されました。これらが太平洋沿岸に連なり、太平洋ベルトと呼ばれる巨大な工業地帯が形成されました。
問14	答え 3 バブル崩壊	投機によって膨らんでいた資産価格が急激に下落し、それまで借金をして投資していた企業や銀行が多額の不良債権を抱えることになりました。
問15	答え 2 高度経済成長	鉄鋼、造船、自動車などの重化学工業が飛躍的に発展し、国民の所得も向上しました。三種の神器と呼ばれた家電製品などが普及し、人々の生活水準が大きく改善したのもこの時期の特徴です。